

地域密着型金融の取り組みについて(平成21年度)

項目	動機(経緯)	取組み内容	評価・今後の課題																																																																																					
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化																																																																																								
経営改善支援	<p>今後の経営方針、事業改善の相談を受け、モニタリングや改善可能性等の分析を行い、条件緩和等の支援を実施しました。</p> <p>なお、経営改善支援の取組実績は、以下のとおりです。</p> <p>【21年4月～22年3月】</p> <p>(単位:先数)</p> <table border="1" data-bbox="779 802 1720 1350"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">期初 債務者数 A</th> <th colspan="4">(単位:先数)</th> <th rowspan="2">経営改善 支援取組 み率 /A</th> <th rowspan="2">ランクアッ プ率 /</th> <th rowspan="2">再生計画 策定率 /</th> </tr> <tr> <th>うち 経営改善支 援取組み先 数</th> <th>のうち期 末に債務者 区分がラン クアップした 先数</th> <th>のうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった先 数</th> <th>のうち再 生計画を策 定した先数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正常先</td> <td>948</td> <td>0</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>要 注 意 先</td> <td>207</td> <td>73</td> <td>9</td> <td>64</td> <td>8</td> <td>35.3%</td> <td>12.3%</td> <td>11.0%</td> </tr> <tr> <td>うち 要管理先</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>16.7%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>破綻懸念先</td> <td>50</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>34.0%</td> <td>23.5%</td> <td>17.6%</td> </tr> <tr> <td>実質破綻先</td> <td>37</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>破綻先</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>小計 (～の計)</td> <td>316</td> <td>91</td> <td>13</td> <td>78</td> <td>11</td> <td>28.8%</td> <td>14.3%</td> <td>12.1%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,264</td> <td>91</td> <td>13</td> <td>78</td> <td>11</td> <td>7.2%</td> <td>14.3%</td> <td>12.1%</td> </tr> </tbody> </table>		期初 債務者数 A	(単位:先数)				経営改善 支援取組 み率 /A	ランクアッ プ率 /	再生計画 策定率 /	うち 経営改善支 援取組み先 数	のうち期 末に債務者 区分がラン クアップした 先数	のうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった先 数	のうち再 生計画を策 定した先数	正常先	948	0	/	0	0	0.0%	/	-	要 注 意 先	207	73	9	64	8	35.3%	12.3%	11.0%	うち 要管理先	6	1	0	1	0	16.7%	0.0%	0.0%	破綻懸念先	50	17	4	13	3	34.0%	23.5%	17.6%	実質破綻先	37	0	0	0	0	0.0%	-	-	破綻先	16	0	0	0	0	0.0%	-	-	小計 (～の計)	316	91	13	78	11	28.8%	14.3%	12.1%	合計	1,264	91	13	78	11	7.2%	14.3%	12.1%	<p>経営戦略の確立、総債務圧縮を柱とした経営改善スキームの策定と金融支援を実施しました。</p>	<p>[評価] モニタリングを通じた信頼関係の構築により、改善計画の具体的施策が共有され、一体となった改善が可能となりました。</p> <p>[今後の課題] 経営改善を通じた正常化への進捗状況のモニタリング支援が課題です。</p>
	期初 債務者数 A			(単位:先数)							経営改善 支援取組 み率 /A	ランクアッ プ率 /	再生計画 策定率 /																																																																											
		うち 経営改善支 援取組み先 数	のうち期 末に債務者 区分がラン クアップした 先数	のうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった先 数	のうち再 生計画を策 定した先数																																																																																			
正常先	948	0	/	0	0	0.0%	/	-																																																																																
要 注 意 先	207	73	9	64	8	35.3%	12.3%	11.0%																																																																																
うち 要管理先	6	1	0	1	0	16.7%	0.0%	0.0%																																																																																
破綻懸念先	50	17	4	13	3	34.0%	23.5%	17.6%																																																																																
実質破綻先	37	0	0	0	0	0.0%	-	-																																																																																
破綻先	16	0	0	0	0	0.0%	-	-																																																																																
小計 (～の計)	316	91	13	78	11	28.8%	14.3%	12.1%																																																																																
合計	1,264	91	13	78	11	7.2%	14.3%	12.1%																																																																																

項目	動機(経緯)	取組み内容	評価・今後の課題
事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底			
不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み	より一層地元貢献度の高い企業を目指した事業計画を、積極的に支援することを目指しました。	動産担保融資および私募債の受託・引き受け支援。	<p>[評価]</p> <p>初めてのケースであったが、顧客ニーズにマッチした資金支援となり、顧客の事業価値向上に貢献する取組みとなりました。</p> <p>[今後の課題]</p> <p>動産担保融資扱い件数の増加と、ノウハウの蓄積が課題です。</p>
地域の情報収集を活用した持続的な地域経済への貢献			
地域活性化につながる多様なサービスの提供	当金庫、石巻専修大学、地元企業の産学の技術・ビジネスマッチング・情報交換の協力体制を推進し、連携して地域経済の活性化と地域社会の発展に貢献する、ネットワークの構築を目指しました。	<p>平成21年9月、産学金連携コーディネータ認定研修を実施、受講者である支店長等当金庫がパイプ役となり、地元中小企業が抱えている課題を大学の情報や技術を活用して解決する、産学連携への橋渡しを実施しました。</p> <p>今年度は、以下の相談申し込みを受け付け、教授より直接の助言や、技術指導等を受ける等早速成果が現れております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊機械製造の開発支援について ・学生による商品デザイン・パッケージロゴの作成依頼について(大学と共同で推進中) ・機械の製品化について ・雑草の種の状況について ・画像処理ソフトの開発について ・消泡剤の開発について ・開発中機械の問題解決について ・食材の消臭化について ・製品の殺菌・小型化について ・電柱のリサイクルについて 	<p>[評価]</p> <p>産学連携相談による橋渡しの実績が増加しており、地元企業の課題解決支援が充実してきています。</p> <p>[今後の課題]</p> <p>産業の振興に直結する産学連携を、より充実・促進させることが課題です。</p>

項目	動機(経緯)	取組み内容	評価・今後の課題
	<p>当金庫、石巻専修大学、地元企業の産学の技術・ビジネスマッチング・情報交換の協力的体制を推進し、連携して地域産業の活性化を目指しました。</p>	<p>今年度は、以下の通り実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本一きれいな海水浴場 いしのまき清掃活動の実施 参加者：当金庫、石巻専修大学、石巻商業高校 総勢240名 ・石巻専修大生インターンシップの実施(6名) ・ISプロジェクト・産学金連携コーディネータ認定研修の実施 ・企業経営セミナー「小売業の現状と製造業の課題ー石巻地域における食品製造業の経営を考える」 参加者47名 ・宮城県東部地域国際観光フォーラム 演題「訪日外国人観光客の現状と中国からの観光誘客の課題」 参加者130名 	<p>[評価] ISプロジェクトは年々順調に事業が実施され、地域での評価が高まっています。</p> <p>[今後の課題] プロジェクトがマンネリにならないように、今後は新規事業の組立て等の工夫が課題です。</p>
	<p>営業力・技術力等の経営資源に乏しい中小企業が、変化する経済環境に対応していくためには、新分野へ積極的な挑戦と開拓が必要であり、このような背景をふまえて次世代経営者に交流と勉強の場を提供し次世代経営者の成長・発展、地元へ貢献することを目的に若手経営塾を設立し事業活動に取り組んでいます。</p>	<p>今年度は、以下の通り実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会「本間流モチベーションUP術」 講師 本間 秋彦 氏 ・山形信金NEWマネジメントクラブと交換会及び企業視察 ・「日本製紙(株)石巻工場」視察 ・「株式会社ノ葺」視察 ・講演会と懇親会実施 「元気な会社にするには」 ・第1回県北・石巻エリア「次世代ビジネスフェア」開催 来場者 500名 	<p>[評価] 年間行事6回を中心に、塾生(異業種)に交流の場を提供し、経営者としての成長に貢献することができました。</p> <p>[今後の課題] 塾生の増加(平成19年19名で設立、22年43名)に伴い塾生主導型を強化し、全員参加型の事業運営を行うことが課題です。</p>